

JAPAN MEDICAL AFFAIRS SUMMIT



20

23

2023年 テーマ:

“Disrupting Healthcare in Japan - Embracing Innovation in Digital, Technology and Education to Improve Patient Outcomes”

**“MAPSはメディカルアフェアーズ組織の進化
発展を目的として運営されている世界的な学会です”**

東京 | 日本

medicalaffairs.org/japan2023

主催者挨拶

Dear Esteemed Colleagues & Guests,

It is our great pleasure to welcome you to the inaugural **Japan Medical Affairs Summit 2023**, a groundbreaking event co-organized by **JAPhMed, PhRMA and MAPS**. This year's theme, "**Disrupting Healthcare in Japan - Embracing Innovation in Digital, Technology and Education to Improve Patient Outcomes**," is reflective of the key topics our Distinguished Advisory Board have identified as essential for Medical Affairs professionals to be updated on to succeed in Japan.

Our distinguished lineup of speakers, representing industry leaders and HCP's from academia and hospitals, will share their expertise and perspectives on a wide range of topics, including Real World Data/Evidence, Medical Education, Patient Engagement, Field-Based Medical and more. We have designed the program to feature informal and formal presentations, panels and a workshop to encourage open-dialogue, networking and knowledge-sharing.

We are confident that you will find this conference to be an invaluable opportunity to learn about the latest trends, insights, and best practices in Medical Affairs for you to help shape the future of healthcare in Japan.

We look forward to welcoming you in Tokyo!

Best regards,



西馬 信一
副理事長・メディカル
アフェアーズ部会長
日本製薬医学会



片山 泰之
メディカルアフェアー
ズ委員会 委員長
米国研究製薬工業協会



ビクトリア・エレガント
APAC 社長
MAPS

主催者について



PhRMA

PhRMAの日本オフィスは1987年1月の開設以来、在日加盟企業を代表し様々な活動を積極的に展開しています。行政、医療政策担当者、医師をはじめとする医療従事者、報道関係者、そして患者団体等、関係するすべての団体と直接対話を重視した活動を推進しています。PhRMAは日本製薬団体連合会、日本製薬工業協会、欧州製薬団体連合会と協力して活動を展開しています。



JAPhMed

一般財団法人 日本製薬医学会は製薬医学に関わる業務、すなわち、新薬の開発、承認、医薬品の販売、管理・安全対策等において活躍されている産官学のメンバーを中心とした団体です。本学会は1967年1月のMD会を出発点として、既に50年余りの歴史を有しており、2009年4月より一般財団法人 日本製薬医学会（The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine : JAPhMed）として法人化し現在に至っております。

本学会では、“製薬医学専門家の知識、専門性およびスキルの向上を通して製薬医学を推進し、患者と社会のベネフィットのために医薬品へのアクセスと適正使用へと導くことにある”をミッションとして掲げておりますJAPhMedは国際製薬医学会（IFAPP）の日本支部として運営されています。

MAPS

The Medical Affairs Professional Society (MAPS) is the premier non-profit global Medical Affairs organization FOR Medical Affairs professionals BY Medical Affairs professionals across all different levels of experience/specialty. Together with over 10,500 Medical Affairs members from 300+ companies globally, MAPS is transforming the Medical Affairs profession to increase its value to patients, HCPs, industry and society.

MAPS transforms Medical Affairs organizations and Medical Affairs professionals globally by: speaking as the single voice of the Medical Affairs profession; defining the current and future practice of Medical Affairs; being the global community for Medical Affairs professionals; and leveraging collective thought leadership to train the next generation of Medical Affairs leaders.



アドバイザーボードメンバー



片山 泰之
メディカルアフェアーズ統括 /
メディカルアフェアーズ委員会
委員長
MSD株式会社 / 米国研究製薬工
業協会



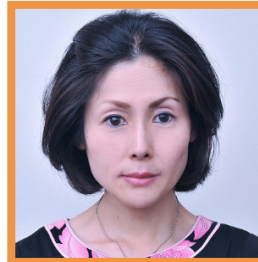
西馬 信一
執行役員、メディカル本部長 /
副理事長・メディカルアフェ
アーズ部会長
アキュリスファーマ株式会社 /
日本製薬医学会



ビクトリア・エレガント
APAC 社長 / VP 地域メディカルア
フェアーズ
MAPS / アムジェン



今村 恭子
代表理事
医療開発基盤研究所



富安 美千子
シニアマネージャー、MSLエクセレンス
/ MSLトレーニングカリキュラムタスク
リード
アレクシオンファーマ合同会社 /
日本製薬医学会



鈴木 聡文
MSL / メディカルアフェアーズ
委員会 WG3 リーダー
MSD株式会社 / 米国研究製薬工
業協会



村上 寛和
オンコロジーメディカルアフェ
アーズ統括部 MSL
メルクバイオフファーマ株式会社



村田 洋子
メディカルアフェアーズ本部 免疫
・感染症部 部長 / メディカルアフ
ェアーズ委員会 WG2 リーダー
ヤンセンファーマ株式会社 /
米国研究製薬工業協会



吉田 浩輔
執行役員
株式会社リニカル



安水 大介
IMAT 医療政策部 部長 / メディカル
アフェアーズ委員会 WG1 リーダー
ヤンセンファーマ株式会社 /
米国研究製薬工業協会



高桑 健
メディカルアフェアーズ本部
メディカルサイエンスリエゾン部
部長 / メディカルアフェアーズ委
員会 WG3
ヤンセンファーマ株式会社 /
米国研究製薬工業協会



大畑 宏聡
研究開発・メディカルアフェアー
ズ統括本部 バイオ医薬品領域本
部 自己免疫疾患領域 部長 / メディ
カルアフェアーズリード / メディ
カルアフェアーズ委員会 WG3
日本イーライリリー株式会社 / 米
国研究製薬工業協会



松山 琴音
医療管理学特任教授
日本医科大学

議題、及びイベントスケジュール

6月15日（木）一般演題

6月15日に開催される一般セッションでは日英同時通訳が利用可能です

9:00 - 9:30

参加登録

モーニングプレナリー

9:30 - 10:30

メディカルアフエアーズの未来：日本のメディカルアフエアーズはどのようにMAPS 2030レポートとアライメントをとるのだろうか？

タウンホールセッション

2022年MAPSから「メディカルアフエアーズの未来2030」に関する画期的なレポートがリリースされましたがこれは我々進メディカルアフエアーズの役割がどう進化していくべきなのかということに関してグローバルメディカルアフエアーズのシニアリーダーの見解を統合したものであり、メディカルアフエアーズの幹部によって初めてコンセンサスが得られたものになります。この特別なセッションでは、日本のメディカルアフエアーズ業界がどこに向かい、そしてどのようにMAPS 2030レポートとアライメントをとるのかに関して、本サミットの参加者らから質問やコメントを持ち寄り議論が進められます。MAPS 2030レポートは本イベントの前に参加者に配布されます。参加者はご自身の考え、フィードバックや質問を持ち寄り、オープンでリラックスした中で専門家である講師陣や参加者らと一緒に議論をご満喫下さい。

座長:

ビクトリア・エレガント
APAC 社長 /
VP 地域メディカルアフエアーズ
MAPS / アムジェン

アントーニ・ヘイジ
シニアディレクター 薬学博士
ASCA オンコロジー製品部
メディカルアフエアーズグループ
ASCA 事業本部
第一三共株式会社

ヘレン・リン
執行役員
メディカルアフエアーズ本部
本部長
アムジェン株式会社

ヤン・ファンオーバーベーク
パートナー、東京オフィス
マッキンゼー・アンド・カンパニ

6月15日（木）一般演題

6月15日に開催される一般セッションでは日英同時通訳が利用可能です

10:30 - 10:45 開会の挨拶

西馬 信一
副理事長
メディカルアフェアーズ部会長
日本製薬医学会
執行役員、メディカル本部長
アキュリスファーマ株式会社

片山 泰之
メディカルアフェアーズ委員会
米国研究製薬工業協会
メディカルアフェアーズ統括
MSD株式会社

ビクトリア・エレガント
APAC 社長
MAPS
VP 地域メディカルアフェアーズ
アムジェン

10:45 - 11:45 患者アウトカムに関するメディカルアフェアーズのインパクトを評価

基調パネルディスカッション

モデレーター:
ビクトリア・エレガント
APAC 社長
MAPS
VP 地域メディカルアフェアーズ
アムジェン

パネリスト:
片山 泰之
メディカルアフェアーズ委員会
米国研究製薬工業協会
メディカルアフェアーズ統括
MSD株式会社

西馬 信一
副理事長
メディカルアフェアーズ部会長
日本製薬医学会
執行役員、メディカル本部長
アキュリスファーマ株式会社

今岡 丈士
アソシエイトバイスプレジデント
メディカル / メディカルアフェアーズ
委員会 副委員長
日本イーライリリー株式会社 /
米国研究製薬工業協会

田中 倫夫
執行役員
メディカル本部長
アストラゼネカ株式会社

イ ハニ
執行役員, メディカル部門長
ファイザー株式会社

6月15日（木）一般演題

6月15日に開催される一般セッションでは日英同時通訳が利用可能です

リアルワールドデータ/エビデンスのセッション

11:45 - 13:45

RWD活用における産学連携の現状の課題とこれからの地平

近年、リアルワールドデータ（RWD）は、医薬品開発や医療技術評価等の様々な目的での活用が進み、益々その重要性が増している。また、本年、次世代医療基盤法の見直しにより、製薬医学の領域でより一層RWDの利用が進むことが期待される。RWDを用いた質の高い研究実施には、製薬企業だけでなくアカデミア側の協同も欠かせない。

他方で、RWDを用いた研究の実施において、産学が双方の強み・弱みを理解する機会や、相手が何を期待しているのかについて理解する機会は少ない。

本セッションでは、わが国で現在利用できるデータベースや次世代医療基盤法等の規則について概観した後に、産官学それぞれの立場での研究の具体的事例を紹介する。

その後、パネルディスカッションにて、産官学が一同に会し、RWDが広く活用される将来像を展望した後に、現状の課題やそれに対する施策について意見交換を行う。

座長:

安水 大介

IMAT医療政策部 部長

メディカルアフェアーズ委員会 WG1 リーダー

ヤンセンファーマ株式会社 /

米国研究製薬工業協会

松山 琴音

医療管理学特任教授

日本医科大学

演者:

ピャオ イー

メディカルアフェアーズ、

サイエンティフィックイノベーションリード、

ディレクター / メディカルアフェアーズ委員会 WG1

ギリアド・サイエンス株式会社 / 米国研究製薬工業協会

近藤 晃弘

ヤンセンビジネステクノロジー

アジアパシフィックデジタルヘルス、部長

ヤンセンファーマ株式会社

佐藤 徹

主査

内閣府健康・医療戦略推進事務局

康永 秀生

大学院医学系研究科公共健康医学専攻、教授

東京大学

松山 琴音

医療管理学特任教授

日本医科大学

6月15日（木）一般演題

6月15日に開催される一般セッションでは日英同時通訳が利用可能です

13:45 - 14:15 昼食（軽食を提供）

MEDICAL EDUCATIONのセッション

14:15 - 16:15

より価値の高いメディカルエデュケーションプログラムを提供するには？ 課題と今後のあるべき姿

製薬業界において、医療への貢献のために、メディカルアフェアーズ部門が医療従事者へ様々なメディカルエデュケーションプログラムを提供する機会が増加している。しかしながら、それらのプログラムのコンセプトに対する共通の理解や、規制の整備が十分でないなどの課題も残されている。

本セッションではメディカルエデュケーションプログラムを取り巻く環境を整理するとともに、日本におけるメディカルエデュケーションプログラムの更なる発展に向けた課題とその対策について話し合う。

座長:

村上 寛和
メディカル本部
オンコロジーメディカルアフェアーズ統括部
MSL
メルクバイオフーマ株式会社

村田 洋子
メディカルアフェアーズ本部
免疫・感染症部 部長 /
メディカルアフェアーズ委員会 WG2 リーダー
ヤンセンファーマ株式会社 / 米国研究製薬工業協会

演者 / パネリスト:

杠 哲也
メディカルアフェアーズ部門
メディカルエデュケーション
アソシエイトディレクター /
メディカルアフェアーズ委員会 WG2
MSD株式会社 / 米国研究製薬工業協会

三浦 裕司
臨床腫瘍科 部長
虎の門病院

パネリスト:

今岡 丈士
アソシエイトバイスプレジデント
メディカル / メディカルアフェアーズ
委員会 副委員長
日本イーライリリー株式会社 / 米国研究製薬工業協会

6月15日（木）一般演題

6月15日に開催される一般セッションでは日英同時通訳が利用可能です

PATIENT ENGAGEMENTのセッション

16:15 - 18:15

日本における患者エンゲージメントの現状および課題

Patient Centricityは、世界的に提唱され、EUを中心のその取り組みはかなり進んできている。またGCP renovationにおいても患者やステークホルダーの意見を開発ストラテジーや試験計画に取り込むことが提唱されている。

一方、日本においてもPatient Centricityについては規制当局も働きかけをしているが、製薬企業と患者さんのengagementについては、具体例も少なく、取り組みはあまり進んでいない。そこでこのセッションでは、日本において製薬企業、アカデミアの現状について講演頂き、Patient Engagement活動における課題と今後の方策についてディスカッションする。

座長:

今村 恭子
代表理事
医療開発基盤研究所

吉田 浩輔
執行役員
株式会社リニカル

演者:

今村 恭子
代表理事
医療開発基盤研究所

北村 篤嗣
クリニカルデベロップメント
クオリティー部 部長
ファイザーR&D合同会社

宮川 真理
ペーシェントアドボカシージャパン ディレクター
アレクシオンファーマ合同会社

岩屋 紀子
代表
難病サポートfamiliaやまぐち

18:15 - 19:30

イブニングカクテルレセプション

皆様には会場内で開催されるイブニングカクテルレセプションに是非ご参加くださいますようお願い致します。実りあるディスカッションが繰り広げられた一日の終わりに、有意義なビジネスコネクションを築くひと時としてお過ごしいただければ幸いです。ワイン、ビール、ソフトドリンク、フィンガーフードとともに、業界の同僚と会ったり、リーダーと交流したりしてご自身のネットワークを広げる機会になりますようお願い申し上げます。

6月16日（金）MSL Workshop

6月16日に開催されるMSLワークショップは日本語で実施されます。日英同時通訳の提供はございませんこと予めご了承ください。

8:30 - 9:00

MSL Workshopへの参加登録

9:00 - 13:00

WORKSHOPのセッション

MSLの価値最大化にむけて

2010年前後より日本において各社でMedical Affairs部門が立ち上がって以来、部門で医学専門家（HCPs）、研究者と医学・科学的なディスカッションを担うMSL職への注目が高まっている。しかしながら、MSL活動の意義、その価値は社外関係者、あるいは社内他部門から十分に認知されているわけではない。また、MSLは適切な成果物を出すために多岐にわたる専門知識を習得したうえで、様々なガイドラインやPromotion codeによる規制の制限を受ける中で業務を遂行することが求められるが、MSL活動の質を保証する業界共通の標準化されたプログラムや枠組みは存在していない。そこで本セッションではいかにMSLの価値を実証するか、そのために必要となる適切な評価指標、capabilityやトレーニングに加え、MSLのcareer developmentについても取り上げ、さまざまな観点からMSLの理想と現実との間にある課題を解決する方法を見出す機会を提供する。

座長:

高桑 健

メディカルアフェアーズ本部
メディカルサイエンスリエゾン部 部長 /
メディカルアフェアーズ委員会 WG3
ヤンセンファーマ株式会社 /
米国研究製薬工業協会

大畑 宏聡

研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部
バイオ医薬品領域本部 自己免疫疾患領域 部長 /
メディカルアフェアーズリード /
メディカルアフェアーズ委員会 WG3
日本イーライリリー株式会社 / 米国研究製薬工業協会

演者:

茶珍 元彦

メディカル部門
メディカルエクセレンス&イノベーション
CFME部長 /
メディカルアフェアーズ委員会 WG3
ファイザー株式会社 / 米国研究製薬工業協会

中嶋 一博

メディカル本部 オンコロジー部門
消化器がん領域 / 泌尿器がん領域 / 婦人科がん領域
メディカルサイエンスリエゾングループ部長
アストラゼネカ株式会社

富安 美千子

シニアマネージャー、MSLエクセレンス
MSLトレーニングカリキュラムタスクリード
アレクシオンファーマ合同会社 / 日本製薬医学会

田中 弘之

執行役員 メディカルアフェアーズ事業部門 部門長
シミックアッシュフィールド株式会社

13:00

Japan Medical Affairs Summitの終了

また来年にお会いしましょう！

講師



西馬 信一
執行役員、メディカル本部長 /
副理事長・メディカルアフェ
アーズ部会長
アキュリスファーマ株式会社 /
日本製薬医学会



片山 泰之
メディカルアフェアーズ統括 /
メディカルアフェアーズ委員会
委員長
MSD株式会社 / 米国研究製薬工
業協会



ビクトリア・エレガント
APAC 社長 / VP 地域メディカル
アフェアーズ
MAPS / アムジェン



今村 恭子
代表理事
医療開発基盤研究所



イ ハニ
執行役員
メディカル部門長
ファイザー株式会社



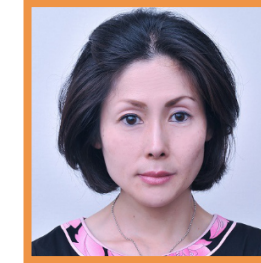
田中 倫夫
執行役員
メディカル本部長
アストラゼネカ株式会社



今岡 丈士
アソシエイトバイスプレジデン
ト、メディカル / メディカルア
フェアーズ委員会 副委員長
日本イーライリリー株式会社 /
米国研究製薬工業協会



ヘレン リン
執行役員、メディカルアフェアー
ズ本部 本部長
アムジェン株式会社



富安 美千子
シニアマネージャー、MSLエクセ
レンス / MSLトレーニングカリキュ
ラムタスクリード
アレクシオンファーマ合同会社 /
日本製薬医学会



宮川 真理
ペーシェントアドボカシージャパ
ンディレクター
アレクシオンファーマ合同会社



中嶋 一博
メディカル本部 オンコロジー部門
消化器がん領域/泌尿器がん領域/
婦人科がん領域 メディカルサイエ
ンスリエゾングループ部長
アストラゼネカ株式会社



三浦 裕司
臨床腫瘍科
部長
虎の門病院



岩屋 紀子
代表
難病サポートfamiliaやまぐち



杠 哲也
メディカルアフェアーズ部門 メデ
ィカルエデュケーション アソシエ
イトディレクター / メディカルア
フェアーズ委員会 WG2
MSD株式会社 / 米国研究製薬工業
協会



茶珍 元彦
メディカル部門 メディカルエクセ
レンス&イノベーション CFME部長
/ メディカルアフェアーズ委員会
WG3
ファイザー株式会社 / 米国研究製薬
工業協会



北村 篤嗣
臨床開発・
品質部 部長
ファイザーR&D合同会社



アントーニ ヘイジ
シニアディレクター 薬学博士
ASCAオンコロジー製品部 メ
ディカルアフェアーズグループ
ASCA事業本部
第一三共株式会社



田中 弘之
執行役員 メディカルアフェア
ーズ事業部門 部門長
シミックアッシュフィールド株式
会社



ヤン・ファンオーバービーク
パートナー、東京オフィス
マッキンゼー・アンド・カンパニ



ピャオ イー
メディカルアフェアーズ、サイエ
ンティフィックイノベーションリ
ード、ディレクター / メディカル
アフェアーズ委員会 WG1
ギリアド・サイエンス株式会社



近藤 晃弘
ヤンセンビジネステクノロジー
アジアパシフィックデジタルヘ
ルス、部長
ヤンセンファーマ株式会社



松山 琴音
医療管理学特任教授
日本医科大学

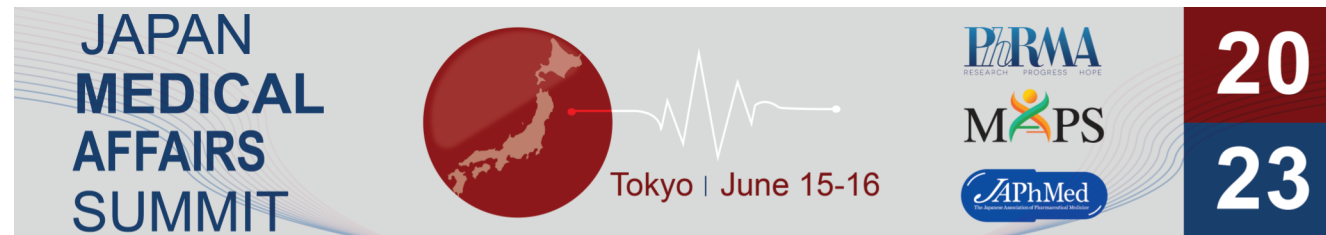


康永 秀生
大学院医学系研究科公共健康医学
専攻、教授
東京大学



佐藤 徹
主査
内閣府健康・医療戦略推進事務局

参加登録情報



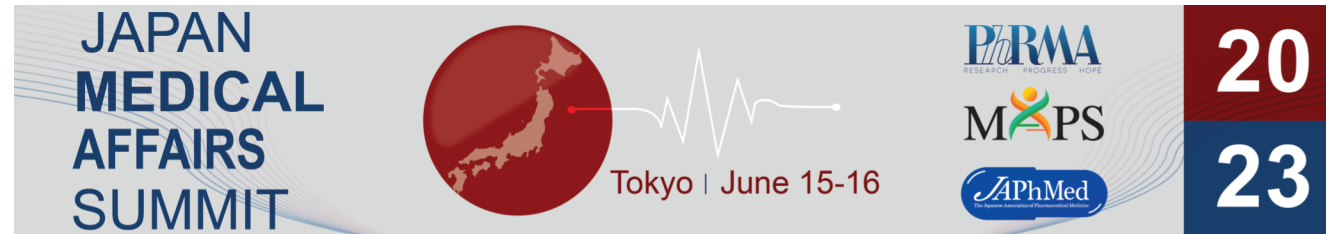
	早期登録 (2023年5月19日まで)	通常登録 (2023年5月20日より)
メインセッションのみ (6月15日) *日英通訳の提供あり		
医療用医薬品医療機器メーカー (JAPhMed/MAPS/PhRMA の何れかの会員)	\$125	\$175
医療用医薬品医療機器メーカー (非会員)	\$200	\$250
医療用医薬品医療機器メーカー (非会員) グループ*	\$175	\$200
*1社3名以上でご参加		
医療用医薬品医療機器メーカー以外の企業様	\$500	\$600
アカデミア/ 医療従事者	\$100	\$125

MSL Workshop のみのご参加 (6月16日) *日本語でワークショップを開催: 日英通訳の提供無し		
シングル会費	\$90	\$100

メインセッション + MSL Workshop (6月15日、16日)		
医療用医薬品医療機器メーカー (JAPhMed/MAPS/PhRMA の何れかの会員)	\$200	\$250
医療用医薬品医療機器メーカー (非会員)	\$275	\$325
医療用医薬品医療機器メーカー (非会員) グループ*	\$250	\$275
*1社3名以上でご参加		
医療用医薬品医療機器メーカー以外の企業様	\$575	\$675
アカデミア/ 医療従事者	\$150	\$200

参加登録はこちらから (URL: medicalaffairs.org/japan2023)

会議場所



会議場所

ステーションコンファレンス東京

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー4～6F

TEL: 03-6888-8080

アクセス

J R 東京駅 日本橋口 直結 / 八重洲北口 徒歩2分
東京メトロ 東西線大手町駅B7出口 直結

後援、展示や参加に関してご質問がありましたら、